

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	畜産振興事業			事業コード	1302
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	加藤 宏之	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 4目 畜産振興事業(001-01)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 不明年度～)		
事務事業の概要	畜産業の活性化を目的とする畜産関係団体の運営に資するため、負担金を支出する。					
根拠法令等	特になし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
畜産業活性化に寄与する各畜産業関係団体を育成強化することにより、専門知識の指導や情報提供が受けられ、畜産業振興が図られる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
なし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
畜産物価格が低迷しており、生産基盤の強化、飼養技術の向上及び低コスト生産等が求められている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	畜産業関係団体	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 団体数	単位	団体
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 畜産業活性化に寄与する各畜産業関係団体へ負担金を支出した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 畜産業活性化に寄与する各畜産業関係団体へ負担金を支出する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 負担金支出件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	関係団体に負担金を支出することにより、畜産農家の生産性の向上、経営の安定化及び品種改良や飼養管理技術の改善を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 負担件数/団体数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図・上位の基本事業にどのよう貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	団体数	団体	7	7	7	7	8	8	24年度 7
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	負担金支出件数	件	7	7	7	7	8	8	24年度 8
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	負担件数/団体数	%	100	100	100	100	100	100	24年度 100
成果 指標B		%							年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,110	1,110	1,110	972	1,654	1,654	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,110	1,110	1,110	972	1,654	1,654	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,110	1,110	1,110	972	1,654	1,654	*****
	延べ業務時間数	時間	10	10	10	10	10	10	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	40	40	40	40	40	40	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,150	1,150	1,150	1,012	1,694	1,694	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 各畜産関係団体の活動により、畜産の活性化が期待できる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 各関係団体の運営経費は、主に市町村の負担金によるものであることから、畜産振興を図るため負担する必要がある。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 現在必要とする団体であることから妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 各関係団体の活動は現状で妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 現在の事業で効果をあげているが、事業の継続が必要である。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 事業の継続により成果は向上していくため、事業を廃止等すると畜産振興に支障が生じる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 必要最低限の経費で行っている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 負担金を出すことが主な業務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 畜産関係団体の活動は、畜産全般に及ぶため受益機会は適正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 農協等関係機関・団体が経費負担しており、また、農家の自己負担もあることから公平である。

